



TechNS

Get Respons

for

Enginner..



時代背景

Facebook, Twitterの普及により
他者に自分の体験を共有し共感を得る時代



現代の課題

エンジニアは技術的な投稿に対して
潜在的にレスポンスが欲しいが、無い



TechNS

エンジニアの

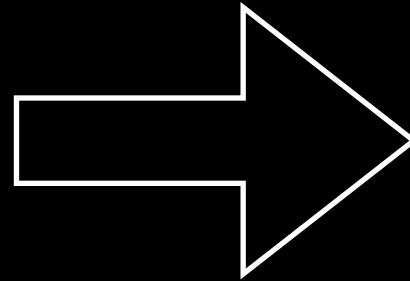
エンジニアによる

エンジニアの為の

SNS

ユーザのフロー

新規登録



TL画面



UX

共感を得る事によって安心する
自己承認欲求を満たす

UI

- ・ タイムライン
- ・ 投稿
- ・ 4種のボタン+コメント
- ・ クラス分け
- ・ 通知



競合他社に対する差別化



投稿

コード+文字(have to)

140文字以内+画像(同)

投稿の質

高

低

主な
投稿範囲

同じチャンネル全体

フォロワー

ユーザ

似たレベルの技術者

技術者 and more

レスポンス

4種のボタン+コメント

お気に入り+コメント

投稿の
気軽さ

コードは基本コピペ
気軽な投稿が可能

基本文字だけなので
投稿が気軽

リプライを得やすい環境形成

- ・ 投稿の質を上げる
- ・ リプライの障壁を下げる
- ・ 近い境遇だと親近感がわく
- ・ 同じ技術レベル同士だと親近感がわく
- ・ 質の低い投稿の連投を防止する

今後の展望

- ・ ユーザの確保
- ・ プロフィール画面
- ・ 言語のカテゴリの充実
- ・ クラス分けの判断
- ・ 自分の投稿の削除
- ・ 質の低い投稿の連投を防止